

行事報告書(研修)

報告者: 藤原泰子

行事名	甲山森林公園の自然観察会
日時	2024年4月11日(木) 10:00~15:00 天候: 晴れ時々曇り
場所	甲山森林公園
テーマ	樹々の息(芽)吹きを感じよう
リーダー	児玉勝久さん 2班に分かれて観察
参加者	24名+インプリ科2名(見学)=26名
内容(概要)	<p>観察コース:管理棟横広場→西入口→噴水広場(昼食)→北入口→展望台→みくるま池→管理棟</p> <p>① 10:00~10:40 専任幹事より本年度観察幹事の紹介の後、児玉講師よりスライドで今年の気温経緯・サクラの開花について・初春の樹木の生き様について説明があった。</p> <p>② 10:45~樹木の花と展葉の記録をシートに記入しながら2班に分かれて観察会始まる。今回は開花・展葉に先立つ重要な行為“揚水”について学んだことを確かめながら観察をした。途中でソメイヨシノの揚水の滲出液が固まった様子も見られた。 → </p> <ul style="list-style-type: none"> ・リュウブは枝が波打つ仮軸分枝で葉は束生していた。それに対してネジキはシュートの展葉が見られた。冬は枝が綺麗な赤だったが、もう緑色になっていた。 ・ヌルデも葉は束生し、枯れた果実も残っていた。アカメガシワの展葉したての赤い葉がかわいい。ナツハゼ・カナメモチのシュート、アオハダの短枝・ウラジロノキの短枝に葉が束生しているのを観ながら西入口へ。 ・ヤマザクラ・サトザクラ・シダレザクラが満開で素晴らしい! 黄色の花のシナレンギョウも満開で花見を堪能。しかもヤブツバキもまだ沢山咲いていた。今年は花が遅かった(蕾は秋に気温が20℃以下になると作られるのだが、9月~10月暑すぎて蕾を作るのが遅れたからだそうです) ・オオバヤシヤブシのハ・メ・オの様子と托葉がよくわかった。 ・サトザクラの雄しべが花弁に変化した様子が見られた。 ・足元にはサギゴケ、オオイヌノフグリが咲き乱れ可愛い。クスノキ、カナメモチは常緑だが赤く葉を落としていた。 <p>③ 12:05~12:40 噴水広場で昼食 サクラをバックに記念撮影</p> <p>④ 12:40~14:30 午後の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハクモクレンの雄花・雌花の跡が螺旋状になっていたのを確認したり、ドウダンツツジの花の付き方を観たり イロハモミジの雄花と両性花(少なくともなかなか見つからなかった)を探しながら北入口へ。パイオニアプラントのアカメガシワは120年も土の中で種子の形で生きて、条件が揃うと発芽と説明あり、驚きました。 ・展望台への途中、ヒサカキの臭い花のにおいの中、セイヨウバクチノキの花やザイフリボクの白い花に癒された。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> ハクモクレン</div> <div style="text-align: center;"> ドウダンツツジ</div> <div style="text-align: center;"> セイヨウバクチノキ</div> <div style="text-align: center;"> ザイフリボク</div> </div> <p>⑤ 14:30~15:00 室内で今日のまとめを各班発表して締め括りました。</p> <p>天気に恵まれて、お花見をしながらの観察は、色々な植物の生き様が見られて充実した楽しい一日でした。</p> 